

第 17 期  
事業報告書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

社会福祉法人 寿光会

## I 法人の概要

1 設立年月日 設立認可 平成12年2月 1日

法人設立 平成12年2月14日

### 2 定款に定める目的及び事業内容（第1条）

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

#### (1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営 定員 56名

(ロ) 軽費老人ホーム(ケアハウス)の経営 定員 15名

#### (2) 第二種社会福祉事業

(イ) 老人短期入所事業の経営 定員 14名

(ロ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 定員 18名

#### (3) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業の経営

社会福祉法人 寿光会 理念 【行動指針】

**私は 敬愛の心で感応し**

**誠実に行動します**

### 3 所轄官庁に関する事項

三木市

### 4 事務所

法人本部 兵庫県三木市志染町四合谷字伊賀ノ垣341番地

(電話) 0794-84-0237 (FAX) 0794-84-1629

グループホーム (電話) 0794-87-1055 (FAX) 0794-87-1310

## 5 役 員（平成29年3月31日現在）

### 理事・監事

役 職	氏 名	勤務形態	担 当 職 務 ・ 現 職 等
理 事 長	村 岡 正 弘	非常勤	社会福祉法人寿光会 理事長
常務理事	山 田 真 嗣	常 勤	特別養護老人ホーム りんどうの里 施設長
理 事	和 泉 藤 枝	非常勤	三木市社会福祉協議会 会長
理 事	井 本 智 勢 子	非常勤	元三木市教育委員会 教育長
理 事	高 木 俊 博	非常勤	特別養護老人ホーム ヘルシービラ加美 施設長
理 事	告 野 衛 治	非常勤	元三木市役所 参与
監 事	藤 本 清	非常勤	藤本秀樹税理士事務所 会長
監 事	門 口 淳 一	非常勤	社会福祉法人まほろば・三木光司園 施設長

### 評議員（理事兼任者を除く）

氏 名	現 職 等
安 随 右 策	元三木市役所 選挙管理委員会 書記長
新 井 謙 次	元緑が丘中学校PTA 会長
生 田 達 雄	前別所町公民館長
大 西 弘 文	社会福祉法人博愛福祉会 理事長
金 井 善 信	元利用者家族
常 本 芳 正	元利用者家族
藤 枝 令 子	元三木市更生保護女性会 副会長
森 賢 一	法務省 人権擁護委員

### 福祉サービス向上・苦情対応委員会第三者委員

役 職	氏 名	現 職 等
委 員 長	實 井 憲 二	法務省 人権擁護委員
委 員	門 口 淳 一	社会福祉法人寿光会 監事
〃	藤 枝 令 子	社会福祉法人寿光会 評議員
〃	田 中 清 子	三木市民生委員児童委員協議会 会長

6 組織及び職員に関する事項

(1) 組織（平成29年3月31日現在）

総務係 5名

生活相談係 4名

生活支援係 33名（りんどうユニット・海ユニット・花ユニット）

グループホーム 14名（ひまわり・コスモス） 計 56名

(2) 職員（平成29年3月31日現在）

役員・医師 4名

内訳：理事長、常務理事兼施設長、嘱託医師2名

常勤職員 53名

内訳：介護支援専門員3名、社会福祉士1名、看護職員4名、

介護福祉士27名、ヘルパー2級5名、管理栄養士2名、

事務職員4名、労務職員1名

嘱託職員6名（看護職員2名、介護福祉士3名、ヘルパー2級1名）

非常勤職員 3名

内訳：パート職員（介護福祉士1名、ヘルパー2級1名、労務職員1名）

計 60名

(3) 採用職員数 11名（嘱託・パートを含む） 退職職員数 9名

(4) 職員等採用試験 23回実施 応募者数25名 採用者11名

(5) 業務委託（夜間管理、洗濯） シルバー人材センター職員 3名

(6) 派遣（看護） シルバー人材センター職員 4名

7 行政官庁認可事項・届出事項等

件名	届出・認可等年月日	届出先等
登記事項変更（資産総額の変更）	平成28年5月25日 登記	神戸地方法務局

## 8 理事会・評議員会等に関する事項

### (1) 理事会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回	平成28年5月19日 りんどうの里 会議室 1 平成27年度 事業報告について 2 平成27年度 決算報告について	承認 承認
第2回	平成28年10月25日 同上 1 グループホーム長の任用について 2 車輛売却について 3 組織規程の一部を改正する規程の制定について 4 職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 5 副施設長の任用について 6 定款の一部を変更することについて 7 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 8 評議員選任・解任委員の選任について 9 次期評議員候補者の選任について 10 ご利用者様からの御礼金処理について	報告 報告 承認 承認 可決 承認 承認 承認 承認 承認
第3回	平成29年2月14日 同上 1 評議員選任・解任委員の報酬について	承認
第4回	平成29年3月22日 同上 1 平成29年度 事業計画（案）について 2 平成29年度 収支予算（案）について	可決 可決

### (2) 評議員会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回	平成28年5月19日 りんどうの里 会議室 1 平成27年度 事業報告について 2 平成27年度 決算報告について	承認 承認
第2回	平成28年10月25日 同上 1 グループホーム長の任用について 2 車輛売却について	報告 報告

	3 組織規程の一部を改正する規程の制定について	承認
	4 職員給与規程の一部を改正する規程の制定について	承認
	5 副施設長の任用について	可決
	6 定款の一部を変更することについて	承認
	7 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について	承認
	8 評議員選任・解任委員の選任について	承認
	9 次期評議員候補者の選任について	承認
	10 ご利用者様からの御礼金処理について	承認
第3回	平成29年3月22日 同上	
	1 平成29年度 事業計画（案）について	承認
	2 平成29年度 収支予算（案）について	承認

### （３） 評議員選任・解任委員会

第3回	平成29年2月28日 りんどうの里 会議室	
	1 評議員の選任について	承認

### （４） 監 事

- 1 すべての理事会、評議員会に出席。
- 2 理事会、評議員会の審議過程において、適宜、適切な助言と指導がなされた。
- 3 平成28年5月13日 定款第11条に定める監査を実施した。

監査の対象 社会福祉法人寿光会 平成27年度事業報告及び収支決算報告に基づき実施

第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営

軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営

第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営

認知症対応型老人共同生活援助事業の経営

公益を目的とする事業 居宅介護支援事業の経営

### （５） 福祉サービス向上・苦情対応委員会

第1回 平成28年6月27日（月） りんどうの里会議室

報告事項 ① 平成27年度 ひやり・はっと事例及び事例報告の集計について

② 平成26年度 苦情事例について

## II 事業概要

増え続ける社会保障費を抑制し、持続可能な社会保障制度の確立を図るため、様々な見直しがなされていく中で、とりわけ、医療・介護分野については、「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」への転換のため、受け皿となる地域の医療・介護の基盤を充実させるとともに、地域ごとに医療、介護、予防に加え、本人の意向と生活実態に合わせて切れ目なく継続的に生活支援サービスや住まいが提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。医療については「医療計画」が、介護については「介護保険事業（支援）計画」があり、これに基づき都道府県、市町村が実際に政策を実行していますが、これまでは別々の時期に改定されてきたため、開始時期が異なっていました。診療報酬と介護報酬の改定についても概ね同様でしたが、2018（平成30）年度に医療計画、介護保険事業（支援）計画、診療報酬、介護報酬の同時改定が予定されています。その同時改定に向けて平成28年度は第六期介護保険事業（支援）計画の二年目にあたり、介護保険制度については大きな変更はありませんでした。

法人全体では社会福祉法の改定による社会福祉法人制度改革の実施に向けて定款変更や評議員選任解任委員会の設置等を行いました。

介護ニーズが増加する一方で労働力人口が減少し、介護サービスの効果的・効率的な提供が課題となっている中で、厚生労働省では、介護ロボットの普及や介護記録の作成・保管等の ICT 化により事務を効率化することで、間接的業務の所要時間を削減し、介護職員が直接処遇に係る業務に多くの時間をかけることができるようにする取組みに向けた支援を行っています。当法人では厚生労働省の介護ロボット導入促進事業を活用し、生体センサーaamsを4台導入しました。尚、介護記録については5年程前からPC管理としており紙媒体は廃止しております。

平成28年度は、特別養護老人ホームにおいて11名の退所、11名の入所があり、入院延べ日数は644日でした。11名の退所者のうち、永眠された方が7名、医療機関への入院が4名でした。

3月31日現在、平均介護度は4.20、平均年齢88歳7か月、100歳以上が4名、最高齢者は103歳1か月、胃ろう造設者（経管栄養）は4名で、平均入所期間は3年2か月となりました。

グループホーム（定員18名）においては、4名の退居、5名の入居がありました。3月31日現在、平均介護度は3.00、平均年齢は88歳9か月（最高齢者は99歳）、平均入居期間は3年4か月となりました。

決算内容については、当期活動増減差額が前年度比 4,764,678 円増の10,127,800 円という結果となりました。

今年度も皆様方のご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げ概要報告といたします。

### Ⅲ 特別養護老人ホーム

#### 1 入退所者数（自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	1	2	4	1	2	0	0	0	0	0	0	11
退所者	死亡	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	7
	入院	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4

#### 2 疾患類別（自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日）

病 名	人 数	病 名	人 数
認知症	19	胆石症	6
アルツハイマー型認知症	14	胃瘻造設後	5
大腿骨骨折術後	16	ペースメーカー植え込み術後	4
慢性心不全	9	白内障	2
脳梗塞後遺症	9	ペースメーカー植え込み術後	2
脳出血後遺症	10	器質性癲癇	2
高血圧	8	2型糖尿病	2

※1 既往歴は除く

※2 入所者 1 名に複数疾患保持あり

#### 3 認知症自立度

自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
1	0	6	0	14	4	25	6	56

#### 4 入浴形態 単位：人

	一般浴	一般浴（座位式）	特殊浴（臥位式）	ケアバス（座位式）	個浴（3 階）	合 計
海 組	0	22	22	0	0	44
花 組	0	0	1	9	2	12
合 計	0	22	23	9	2	56

#### 5 排泄状況 単位：人

	自立	一部介助	全介助	合 計
海 組	2	23	19	44
花 組	0	10	2	12
合 計	2	33	21	56

#### 6 口腔ケア実施状況 単位：人

	自 立	一部介助	全介助	合 計
海 組	2	20	22	44
花 組	3	9	0	12
合 計	5	22	29	56

#### 7 出身地別（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位：人

三木市	神戸市	大阪府	小野市	芦屋市	加東市	広島市
47	3	2	1	1	1	1

※ 三木市住所地出身者は全体の 83.9%



## 8 年齢別（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位：人

65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合 計
0	2	5	10	11	14	10	4	56

平均年齢・・・88 歳 7 ヶ月 男性・・・11 名 女性・・・45 名

最高齢者 男性・・・97 歳 1 ヶ月 女性・・・103 歳 1 ヶ月

## 9 要介護度別（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位：人

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0	0	8	29	19

平均介護度・・・4.2

要介護 4・5 は全体の 85.7%

## 10 施設外治療状況(自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
内科	1	1		3	1	3	1	4	3	4	1	2	24
整形	1					1					1	1	4
泌尿器	5	1	4	5				3	6	3	3	3	33
皮膚			2										2
眼科			1									1	2
耳鼻科	1			2	1								4
精神							1						1
循環器			1			2		1		1			5

## 11 施設内治療状況(延べ人数)（自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日）単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
精神	6	6	6	6	6	6	6	6	8	8	4	8	76
歯科	0	5	9	10	11	12	5	1	1	8	14	2	78

## 12 利用期間（平成 29 年 3 月 31 日現在） 単位：人

1 年未満	1 年以上	2 年以上	3 年以上	4 年以上	5 年以上	6 年以上	7 年以上
9	18	8	7	2	5	2	5

平均利用期間・・・3 年 2 ヶ月

## 13 季節性インフルエンザ予防接種状況

特別養護老人ホーム入所者 54 名（未接種者：2 名）

## 14 機能訓練実施状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

集団訓練	・リハビリテーション体操 ・歌体操	・ラジオ体操 ・風船バレーボール ・嚥下訓練
個別訓練	・漢字ドリル ・貼り絵 ・安全、安楽な姿勢保持（臥床姿勢、座位姿勢）	・計算ドリル ・タオル畳み ・起立、歩行訓練 ・塗り絵 ・排泄、保清、食事動作訓練 ・回想法

1.5 短期入所生活介護（ショートステイ） 定員14人 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	30	32	31	27	25	25	23	28	26	23	26	26	322
延べ利用者	430	419	451	372	361	368	398	368	441	416	409	478	4911
1日平均	14.3	13.5	15.0	12.0	11.6	12.3	12.8	12.3	14.2	13.4	14.6	15.4	13.5

1.6 利用者の食事栄養状況（平成29年3月31日現在）

(1) ユニット別食事形態 単位：人

	普通	一口大	刻	ソフト	ミキサー	ゼリー	濃厚流動	経管栄養	合計
海組	11	9	4	11	1	3	1	4	44
花組	4	4	1	3	0	0	0	0	12
合計	15	13	5	14	1	3	1	4	56

(2) 年間食事形態別提供数（4月～1月まで 306日間） 単位：食 割合：%

	普通	刻	極刻	ソフト	ミキサー	ゼリー	濃厚流動	経管栄養	合計
特養	20,868	7,307	2,378	10,948	1,795	1,229	1,160	3,093	48,778
割合	42.8	15.0	4.9	22.4	3.7	2.5	2.4	6.3	100.0
ショート	8,622	1,007	52	1,570	0	0	0	0	11,251
割合	76.6	9.0	0.4	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

（2月～3月まで 59日間） 単位：食 割合：%

	普通	一口大	刻	ソフト	ミキサー	ゼリー	濃厚流動	経管栄養	合計
特養	2,653	2,413	690	2,265	177	496	211	563	9,468
割合	28.0	25.5	7.3	23.9	1.9	5.2	2.2	6.0	100.0
ショート	1,797	235	228	255	0	0	0	0	2,515
割合	71.5	9.3	9.1	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

\* 利用者の咀嚼、嚥下状態や摂取状況を把握し、安全且つ適切な食事の提供に努めています。  
平成28年6月からはゼリー食にも対応しています。また平成29年2月から食事形態を変更し、食べやすさや、見た目にも配慮して提供しています。

(3) ユニット別リスク度状態 単位：人

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
海組	14	25	5	44
花組	5	6	1	12
合計	19	31	6	56

\* 利用者の体重変化（BMI）、血清アルブミン値、食事摂取量、栄養補給法、褥瘡等を把握し、適切な栄養ケアマネジメントを実施しています。低栄養リスクレベルを低・中・高の三段階で判断しています。

## 1.7 行事食実施状況

月	日	内 容
4	5	春のお花見弁当（鮭の木の芽焼き、菜の花の和え物）
	28	郡山駅弁（三春滝桜弁当：筍ご飯）
5	5	端午の節句（特製オムライス、エビフライ）
	8	母の日（祝い赤飯、刺身、茶碗蒸し）
	31	木更津駅弁（漁り弁当：あさりご飯）
6	19	父の日（祝い赤飯、ホキのムニエル、茶碗蒸し）
	29	長崎駅弁（散らし寿司）
7	7	七夕（七夕そうめん）
	27	夏祭り（たこ焼き、おでん、焼きそば）
	29	小淵沢駅弁（高原野菜とチキンカツ）
	30	土用丑の日（おひつまぶし）
8	17	家族会（松花堂弁当）
	25	新横浜駅弁（オムライス）
9	15	中秋の名月（萩ごはん）
	17	敬老祝賀の集い（祝い赤飯、天ぷら）
	19	敬老の日（松茸ご飯）
	28	岡山駅弁（栗おこわ）
10	10	秋の行楽弁当（秋のおこわ）
	28	新富士駅弁（梅ごはん、鮭の照り焼き）
11	2	寿司バイキング（寿司職人による実演）
	19	家族会（松花堂弁当）
	29	豊橋駅弁（潮騒散らし寿司）
12	14・25	クリスマス会・クリスマス（ピラフ、えびフライ）
	15	米沢駅弁（牛めし）
1	1・2	元旦（おせち）
	15	小正月（赤飯、刺身）
	25	福井駅弁（かに棒すし）
2	3	節分（巻き寿司、いわし）
	24	一ノ関駅弁（豚肉の胡麻醤油炒め）
3	1	寿司バイキング（寿司職人による実演）
	15	家族会（松花堂弁当）
	28	沼津駅弁（磯散らし寿司）

＊ 四季折々の季節を感じていただけるよう、旬の食材を取り入れた献立を提供しました。  
寿司バイキングは、普段と違った雰囲気を楽しんでいただけるように開催しました。

#### IV 居宅介護支援事業所

##### 1 介護給付管理（居宅サービス計画作成数） （自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日）

	要支援 1・2 (3,600 円)			要介護 1・2 (10,000 円)			要介護 3～5 (13,000 円)			合 計		
	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度
4 月	6	6	4	16	12	14	18	21	20	40	39	38
5 月	6	6	4	15	14	17	18	20	17	39	40	38
6 月	6	4	4	14	12	17	20	21	17	40	37	38
7 月	6	6	3	15	12	17	18	20	17	39	38	37
8 月	6	7	3	15	11	19	19	18	13	40	36	35
9 月	6	6	2	16	12	19	18	18	16	40	36	37
10 月	7	5	2	15	14	16	20	20	16	42	39	34
11 月	7	5	1	14	13	16	19	21	15	40	39	32
12 月	8	4	1	13	14	16	23	20	14	44	38	31
1 月	7	4	1	14	13	16	21	20	12	42	37	29
2 月	7	4	1	14	14	15	16	20	12	37	38	28
3 月	6	4	2	14	12	15	18	22	12	38	38	29
合計	78	61	32	175	153	197	228	241	181	481	455	406

\* 平均 34 件／月で昨年の 38 件／月を下回った（ケアマネジャー 1 名に対して担当計画作成数は、実質予防給付は二分の一とカウントすると昨年 35.3 件今年度 32.8 件）結果となりました。

##### 2 介護度別内訳 年間延べ人数 （単位：人）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
8	20	134	63	109	39	33	406

##### 3 利用サービス(プラン)状況（延べ件数）

訪問介護	訪問看護	通所介護	通所リハ	福祉用具	短期入所	合 計
154	39	174	39	230	57	693

## V 軽費老人ホーム（ケアハウス）

ケアハウス入居利用者は、ほとんどが要介護、要支援認定者で日常生活面では一部介助を必要とし、特に入浴面では訪問介護サービスやデイサービス等を利用しながら自立生活を営まれています。

### 1 出身地別（平成 29 年 3 月 31 日現在） 単位：人

三木市	神戸市	加東市	小野市	合 計
10	3	2	0	15

### 2 年齢別（平成 29 年 3 月 31 日現在） 単位：人

66 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳以上	合計
2	0	0	7	2	4	15

※ 最年少者 68 歳 1 カ月      最高齢者 95 歳 5 か月

### 3 要介護・要支援度

自 立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
5	0	2	5	3	0	0	0	15

※ りんどうの里居宅介護支援事業所利用者 10 名

### 4 利用期間（平成 29 年 3 月 31 日現在）

1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	7 年～	合計
3	4	1	1	2	1	0	3	15

※ 買物ツアー12 回（延べ 60 人）

※ 平成 29 年 3 月 31 日現在 入居待機者 5 名

加齢に伴い年々平均介護度も上がり、自立者と要介護者との身体状況や生活状況にも格差が生じるようになってきた。

## VI グループホーム（認知症対応型共同生活介護事業）

### 1 入退居者数（自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5
退居者													
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
他施設	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

平均入居期間・・・3年4ヶ月

### 2 疾患類別（自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日）

病 名	人 数	病 名	人 数
認知症	11	慢性心不全	1
アルツハイマー型認知症	7	乳癌	1
レビー小体型認知症	1		
高血圧	5		
大腿骨骨折術後	5		
胆石症	3		
心臓弁膜症	1		

※ 利用者1人に複数疾患保持者あり

### 3 認知症自立度 単位：人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合 計
0	0	1	0	8	1	6	2	18

### 4 入浴形態 単位：人

	ケアバス（座位式）	個 浴	合 計
コスモス	0	9	9
ひまわり	0	9	9
合 計	0	18	18

### 5 排泄状況 単位：人

	自立	一部介助	全介助
コスモス	2	5	2
ひまわり	6	3	0
合 計	8	8	2

### 6 年齢別（平成 29 年 3 月 31 日現在） 単位：人

65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合 計
1	0	1	1	7	8	18

平均年齢・・・88歳9ヶ月      男性・・・1名      女性・・・17名

最高齢者・・・99歳0ヶ月      最年少者・・・69歳10ヶ月

### 7 要介護度別（平成 29 年 3 月 31 日現在） 単位：人

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2	3	7	5	1

平均介護度・・・3.0

8 通院状況(自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日) 単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
内科	1	3	3		1			1	2	1	2		14
外科													0
整形	1	1		1	1	1	1		2		1	1	10
耳鼻	1		1	1							1		4
皮膚	1			1									2
眼科													0
精神		1		1		1	2		2	1	1	1	10
泌尿	1	1											2
歯科				5	1								6
循環			1										1

9 活動状況

- ① 入居者と一緒に手作り料理（毎月 2～3 回実施）
- ② 防火・防災訓練・・・2 回実施（再掲）
- ③ 運営推進会議・・・年間 6 回実施
- ④ ホーム園芸・・・野菜づくり、草花栽培 他
- ⑤ レクリエーション・・・口腔体操、ラジオ体操、誕生日会、塗り絵、計算ドリル、ドライブ他
- ⑥ 地域交流・・・三木市立自由が丘東小学校、三木特別支援学校 他

Ⅶ 利用者家族面会状況（自 平成 28 年 4 月 1 日～至 平成 29 年 3 月 31 日）

	特 養		ショートステイ		ケアハウス		グループホーム		合 計	
	27 年度	28 年度	27 年度	28 年度	27 年度	28 年度	27 年度	28 年度	27 年度	28 年度
4 月	179	281	19	23	46	20	73	87	317	411
5 月	258	335	11	36	41	28	124	100	434	499
6 月	218	248	27	55	33	30	92	101	370	434
7 月	228	305	12	21	32	33	74	104	346	463
8 月	270	296	21	32	41	31	95	72	427	431
9 月	225	272	25	30	24	28	90	96	364	426
10 月	237	274	23	31	30	24	88	87	378	416
11 月	251	255	24	16	25	26	82	79	382	376
12 月	151	307	8	60	47	25	78	94	284	486
1 月	214	347	15	46	51	34	86	101	366	528
2 月	258	203	25	34	35	18	68	66	386	321
3 月	274	235	105	45	28	30	73	101	480	411
計	2,763	3,358	315	429	433	327	1,174	1,088	4,534	5,202

<27 年度> 1 日平均 12.3 名      <28 年度> 1 日平均 14.3 名

## VIII ボランティア活動状況（団体・グループ・個人） （敬称略）

茶道（戸田グループ）、音楽療法（長谷川たか子）、アコーディオン演奏（はやしぶんきち）  
オカリナ演奏（宇根憲子 木下久美子）、健康体操（福祉レクリエーション協会 横山昌子他）  
喫茶こんぺいとう（西村英子 大松ますみ）、ドッグセラピー（Wiz dog Club、Dog Friends）  
指編み教室（井上慶子）、舞踊（みずき会 みなづき会）、映面上映（見口敏郎、丸畑護）  
太極拳（索冥）、合唱（混声合唱団フリーゲル）、ギター演奏（GG 倶楽部）（TOZY&AKI）  
時代劇・舞踊（つづれ会）、夏祭り（安井太鼓 遊舞連 うれし野学園 プチエンジェル）  
傾聴（スマレ）、アートフラワー（花時）、菊（西田博之）、陶芸（山本靖）  
入浴後のヘアドライヤー介助（岡下常子）、車椅子クリーン（いなみ野学園）  
ウエス寄付（ぴかぴかクラブ）、花いっぱい運動（細目老人会）

## IX 実習生受託状況

トライやるウィーク 3名 （緑が丘中）

## X 地域交流・地域活動

- \* 三木市立自由が丘東小学校（運動会、芸術鑑賞会、人権の花授与式、園芸栽培委員）
- \* 志染地区（御坂神社春季例祭）
- \* 三木市高齢者関連施設連絡会（特養、病院、老健の施設長、事務長、ケアマネジャー）
- \* 三木市高齢者ケア研究会
- \* 三木市支援ケアマネ連絡会
- \* 三木市内高齢者施設風船バレーボール交流会
- \* りんどうの里夏祭り
- \* 地域交流作品展
- \* りんどうの里公開講座
- \* ニコニコグループ定例会 講演会講師



## X I 会議、委員会活動状況

S V会議（スーパーバイザー会議）	12回	ライン会議	23回
入所・入居検討会議	11回	ケアプラン会議	218回
感染症・食中毒予防委員会	12回	生きがい推進委員会	12回
介護力向上委員会	12回	抑制廃止・マナー向上委員会	12回
リスクマネジメント委員会	12回	施設行事实行委員会	3回
家族会	3回	食事サービス検討会議	12回
グループホーム運営推進会議	6回	グループホーム会議	12回

### 感染症・食中毒予防委員会

#### 1. 委員会の目的

感染症及び食中毒の予防及び蔓延の防止の為の対策を検討する。

#### 2. 感染管理体制

(1) 施設内の感染症・食中毒の発生や発生時の感染拡大を防止する為に、委員会として以下の取り組みを行った。

##### ア 施設内感染対策

- ・手指消毒剤の作成及び使用方法について周知徹底を図った。
- ・福祉施設において注意すべき感染症について勉強会を開催した。
- ・衛生的手洗いの必要性について勉強会を開催した。
- ・手洗いについて職員にアンケートを配布し集計を行った。
- ・白癬菌対策（水虫）について感染予防の為の対策を検討した。

##### イ 指針・マニュアルの改訂

- ・感染性胃腸炎予防マニュアルの確認
- ・インフルエンザマニュアルの一部改訂

##### ウ 感染症・食中毒予防・まん延防止に関する施設内研修 (目的)

感染症対策の基礎知識の周知徹底と指針に基づいた衛生管理と衛生ケアの励行を図る。

- ・A C Tクロス（環境衛生材料）の効果的使用について外部講師を招き研修を開催
- ・感染性胃腸炎対策の基礎知識及び吐物処理方法の実技研修を開催。
- ・衛生的手洗い方法について実技研修を開催

##### エ 各部署での感染対策実施状況の把握と評価

- ・冷蔵庫の温度管理、衛生管理（食品管理）について検討。

##### オ 入所者の健康管理の把握

##### カ 感染症発生時の対応と報告

- ・吐物処理セットの保管場所の設定と使用方法についての周知徹底を図った。

#### 3. まとめ

感染性胃腸炎、インフルエンザの感染症、発生時の感染予防対策が迅速且つ、適切に行えるよう、吐物処理セット、マスク、消毒薬等の衛生材料の準備と対策方法について職員間での周知徹底図ることできた。また、インフルエンザ、感染性胃腸炎（ノロウイルス）等の集団感染を引き起こす感染症について、職員 1 人 1 人が感染予防対策について常日頃、留意すべき必要がある為、施設内マニュアルの見直しや施設内研修を開催することで学びを深めることに繋がった。

## 生きがい推進委員会

喫茶こんぺいとう 年間 12 回実施 利用者 429 名 ボランティア 24 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者	35	33	35	31	36	31	41	37	37	38	39	36	429
ボラ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

地域の喫茶店に行ったような気分浸って頂けるよう工夫した。

### [年間行事] 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

4 月	お花見、ドッグセラピー、アコーディオン演奏、お茶会、音楽療法、オカリナ演奏 アトリエ芯ちゃん、指編み教室
5 月	ドッグセラピー、アコーディオン演奏、音楽療法、指編み教室、日帰りバス旅行
6 月	ドッグセラピー、アコーディオン演奏、お茶会、音楽療法、オカリナ演奏 アトリエ芯ちゃん、たこ焼きパーティー
7 月	ドッグセラピー、アコーディオン演奏、お茶会、音楽療法、オカリナ演奏 アトリエ芯ちゃん、七夕飾りつけ、盆踊り練習、夏祭り
8 月	ドッグセラピー、アコーディオン演奏、音楽療法、指編み教室、お茶会、オカリナ演奏 アトリエ芯ちゃん、
9 月	敬老祝賀のつどい、ドッグセラピー、音楽療法、オカリナ演奏、アコーディオン演奏 アトリエ芯ちゃん、買い物ツアー
10 月	指編み教室、ドッグセラピー、アコーディオン演奏、音楽療法、オカリナ演奏 秋の遠足、風船バレーボール交流会、アトリエ芯ちゃん、ケアハウス食事会 買い物ツアー、ギター演奏
11 月	音楽療法、ドッグセラピー、アコーディオン演奏、アトリエ芯ちゃん、地域交流作品展 紅葉狩り、指編み教室、オカリナ演奏、買い物ツアー、紅葉狩り
12 月	クリスマス会、太極拳、音楽療法、指編み教室、アコーディオン演奏、お茶会 アトリエ芯ちゃん、餅つき、買い物ツアー
1 月	書き初め、指編み教室、アコーディオン演奏、新年祝賀会、買い物ツアー、ドッグセラピー アトリエ芯ちゃん、オカリナ演奏
2 月	指編み教室、音楽療法、お茶会、アトリエ芯ちゃん、豆まき、混声合唱団、はやしぶんきち オカリナ演奏、買い物ツアー、ドッグセラピー
3 月	寿司バイキング、音楽療法、オカリナ演奏、ドッグセラピー、はやしぶんきち アトリエ芯ちゃん、買い物ツアー、お茶会、家族会

地域の皆様やボランティアの方々のご支援、ご協力をいただきました。

## 介護力向上委員会

目的：テキスト（プロが教える本当に役立つ介護術）をもとに福辺流介助術を委員会にて実践する、特に利用頻度の高い介助として歩行、移乗、排泄について重点的に行い、利用者の力を活用する利用者も職員も楽な介助方法を学び介護力を高める。

また福辺流介助術以外にも各種研修への参加とフィードバックを行い適切な介助方法を実践できるようにする。

### ・介助術の実施と伝達

#### ① 介助術を理解する

福辺流介助術について、テキストを確認しながら委員会内で実施、普段の介助方法とどれだけの介助負担に違いがあるかを実技研修を開催した（歩行、立位、移乗の基本的な動作について重点的に行う）

#### ② 外部研修への参加

「する人される人、どちらも幸せになる介助術（講師：福辺節子）」基本編、実践編に参加テキストだけでは不十分であった部分をテキストの著者の研修で得た情報を再度委員会メンバーへのフィードバック研修を開催。

また福辺流以外にも「生活リハビリの達人になろう（講師：松本 健史）」に参加し自身の動きと利用者の動き、コミュニケーション方法としての「ツッコミ」と「ツツミコミ」について、委員会メンバーへフィードバック研修を開催。

#### ③ 施設内研修の実施

3回の外部研修の内容をまとめ、施設内研修を実施「やりすぎ、やりなさすぎの介助」「言葉かけ」「自身の動きと利用者の動き」「歩行介助」について研修を開催。

#### ④ 施設内研修以外での他職員への伝達方法

施設内研修を行うも、その日に出勤でない職員への伝達ができなく、伝達が不十分となるため、勤務時間中に5～10分の時間をつくり委員会メンバーより委員会内での学びを各ユニット（海組、花組）の職員へフィードバックした。（委員会メンバー自身が伝達したいことを考え行ってもらう）

### ・適切な排泄介助と褥瘡予防

#### ① 適切な排泄介助の理解

外部講師を招き、施設内研修「オムツ研修」を開催した。研修内容について委員会内でフィードバックを行った。また各パッドにどれだけの尿が吸収できるかのサンプルを職員間で確認した。

#### ② 利用者の排泄状況の確認

排泄状況一覧表（各利用者の使用する排泄物品、場所、介助方法をまとめたもの）について排泄状況を効果的に把握できるよう見直しを行った。

#### ③ 褥瘡予防対策

介護支援ソフト「ワイズマン」の画像挿入の機能を使い褥瘡のある利用者は褥瘡の写真をケースへ挿入、その際の状況と対応方法をNSが入力する、完治または継続している場合は1ヶ月後に経過状況を入力し委員会内で報告することとした。

#### ④ 食事形態についての研修会を開催

ゼリー粥、ミキサー食などの普通食以外の食事形態を試食し、意見交換を行った。各食事形態の食感や風味を体験し、食事介助時に利用者へ何を食べられているかの説明が重要であるとの理解をし、利用者と職員が毎食の食事メニューを把握するためにメニューボードの設置を行う。また、片岡管理栄養士の協力によりメニューに書かれていないような添え物の記載も行うこととした。

## まとめ

テキスト（福辺流介助術）は全ての周知は出来ていないが、普段よく使う介助（歩行や立位、言葉かけ等）について、外部研修の伝達もあり詳しく行うことができ、委員間で、しっかりと理解できた。

褥瘡報告については、ただ報告するだけ、排泄状況一覧表を更新していくだけの状態になっていたため、介護支援ソフト「ワイズマン」でのケース入力を活用することで委員会員が褥瘡状態を視覚的にも確認することが出来た。

## 抑制廃止・マナー向上委員会

### 1. 目的

利用者へ対する行動の制限や身体的虐待だけでなく、職員の言葉遣いや行動などの心理的抑制も視野に入れて考える。介護支援場面において抑制と考えられる事例をもとに議論し各委員が「抑制しないケア」の推進を果たす。また、マナーの向上を図る為、日常業務の再点検や意識改革、接遇改善を目的とする。

### 2. 抑制廃止・マナー向上に向けての取組

#### (ア)職員への意識づけの取組

##### i. 委員会でロールプレイを実施

日常で使われている『間違っ言葉遣い』を利用者役、職員役、家族役になり体験する。  
目的として利用者の気持ちや第三者の気持ちを理解する。

##### ii. 前年度から引き続き行っている唱和を修正

全職員を対象としてアンケートを行い、内容を修正した。

『私は、丁寧な言葉で接します』

『私は、自分から笑顔であいさつします』

『私は、自ら率先して掃除します』

『私は、身だしなみを整えます』

#### (イ)緊急やむを得ない身体拘束をなくす

対象者1名のサービス検討会議の内容を委員会で報告し話し合いを行う。

### 3. まとめ

全職員を対象として意識改革に取り組む前に、委員会メンバーが実際に利用者や家族の気持ちを理解することから取り組んだ。ロールプレイをすることで『間違っ言葉遣い』を使用すると利用者や家族が不快と感じていることが理解できた。すると『正しい言葉遣い』を使用しなければいけないと思うようになり、委員会メンバーが主となり『正しい言葉遣い』を使っていくことで施設全体の意識改革につながった。

朝礼時や申し送り時に唱和することによって長期間の意識づけの取り組みを図ったが、内容に関して色々な意見があったのでアンケートをとり修正した。緊急やむを得ない身体拘束に関しては、委員会で「身体拘束」について話し合い、介護・看護の目線だけではない立場からの意見も取り入れ、最終的に対象者1名の身体拘束をなくすことができた。

## リスクマネジメント委員会

### 1 活動の内容

#### (イ) リスク回避対策と利用者の事故発生防止

- ・ 年2回(5月、11月)の福祉用具点検の実施。
- ・ ケアハウスのご利用者の万一来年に備え、ケアコール点検を年2回から年3回へ変更。  
→来年度から適用。

#### (ロ) 施設内研修の実施

- ・ 昨年度のヒヤリハット・事故集計表から、最も頻発する発生種別「転倒・転落」を研修の題材として取り上げた。
- ・ 6月の研修は、事故発生の要因分析をするために記録の内容が重要であることを説明し、ヒヤリハット報告書など記録する際の重要事項について説明をした。
- ・ 9月はヒヤリハットや事故を発見した時の観察事項について説明し、要因分析ができる内容が記録として残せるように意識向上を図った。

#### (ハ) 委員会での事例検討の充実化

- ・ どの職員が書いても報告内容の質が均一になるように、各現場へヒヤリハット・事故報告書の記載例を設置。
- ・ 現場の声を反映できるよう、委員会で検討を行う事例を取り上げるまでの流れを作った。

### 2 活動の成果

#### (イ) リスク回避対策と利用者の事故発生防止

- ・ 福祉用具の整備不良による事故は認めなかった。

#### (ロ) 施設内研修の実施

- ・ ヒヤリハット、事故報告書の書き方にバラつきや不足が見られたが、以前より内容の質が上がった。
- ・ 転倒、転落に繋がりそうな環境要因や本人要因(ご利用者の日々の様子)などに意識が向き、ヒヤリハット件数の向上に繋がった(特養、ショートステイ共にヒヤリハット件数は昨年度より向上した)。

#### (ハ) 委員会での事例検討会の充実化

- ・ 現場が予防(対応)策に困難している事例を委員会で取り上げることで、より有効な予防策を検討することができた。

### 3 今後の予定、課題

#### (イ) リスク回避対策と利用者の事故発生防止

- ・ ケアハウスのコール点検回数は適切であったか、年3回を終えた時点で、利用者の声も合わせて評価した。

#### (ロ) 施設内研修の実施

- ・ 研修では大まかな内容の伝達しかできなかったため、画像あるいは職員による実演を交えて、より実用的な記録が書けるようなスキルアップ研修を検討した。

#### (ハ) 委員会での事例検討の充実化

- ・ 各現場へヒヤリハット・事故報告書の記載例を設置していたが、記録内容が不足していたり、項目と違う内容を書いている職員がいたため、記載例を作成し記載内容の統一を図った。

- ・ 現場の声に沿って、ヒヤリハット・事故報告書の記載例の加筆や変更も検討。
- ・ 事例を決定した際に事例の対象となった利用者の担当職員と十分な話し合いを行い、委員会の検討時に役立てた。
- ・ ケア記録ソフトの機能を活用し、事故発見時の画像またはイラストを残すかどうかを検討した。

#### 4 所感

委員会で取り上げる事例について、これまでは委員が選ぶことが多かったが、現場からあがった事例を委員へ持っていく流れを作ることができた。また、現場が抱えている困難事例を組織間で共有し検討することで、より効果的な予防策を検討することに繋がった。また、介護支援ソフト「ケア記録」の活用や、記入方法についての統一や、ケア記録についての施設内研修を開催した結果、職員の記録の質向上に繋がった。

## X II 防火・防災対策関係

実施日	訓 練 内 容	備 考
5 月 11 日	昼間想定消防訓練（消防職員指導）	全員参加
10 月 26 日	夜間想定消防訓練（職員のみ）	全員参加

- ① 毎月 1 日を防災の日と定め、出火防止、災害防止の啓発に努めた。
- ② 特養・グループホーム自主点検表（21 項目）において施設内を毎週防火点検実施
- ③ ケアハウス自主点検表（14 項目）においてケアハウスを毎週防火点検実施
- ④ 消防設備等の点検実施
- ⑤ 毎月第 2 水曜日クリーンデーの推進

## X III 研修・講習実施状況

（自 平成 28 年 4 月 1 日～至 平成 29 年 3 月 31 日）

実施日	研修テーマ	講師・発表者	参加人数
6 月 1 日	転倒事故について	リスクマネジメント委員会	15 名
8 月 3 日	事例発表 ・利用者さんと介護職員が笑顔になった事例	介護職員 5 名	—
8 月 12 日	特別養護老人ホーム「家族会」 ・利用者さんと介護職員が笑顔になった事例	特別養護老人ホーム 介護職員 3 名	14 名
9 月 7 日	転倒事故後の対処について	リスクマネジメント委員会	19 名
11 月 2 日	感染性胃腸炎「ノロウイルス」 予防対策	感染症食中毒予防委員会	22 名
11 月 19 日	特別養護老人ホーム「家族会」 ・口腔衛生、肺炎	山田恵、勝部	17 名
12 月 7 日	介護職に求められる フィジカルアセスメント	勝部	15 名
1 月 11 日	介護実技研修 「利用者の動きを知り考える」	介護力向上委員会	14 名
2 月 1 日	基本となる手洗い方法について	感染症・食中毒予防委員会	全職員
3 月 15 日	特別養護老人ホーム「家族会」 ・介護ロボットの活用 ・衛生的手洗い	介護職員：斧、中井	20 名



## < 外部派遣研修 >

- ・ 介護支援専門員施設職員研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 三木市栄養士会総会及び研修会（三木市栄養士会）
- ・ 第1回総会（東播磨ブロック老人福祉事業協会）
- ・ 老人福祉施設新任研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 算定基礎届事務説明会（兵庫労働局）
- ・ 福祉の就職総合フェア in HYOGO（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 定時総会（兵庫県老人福祉事業会）
- ・ 安全運転管理者講習会（兵庫県警察）
- ・ 北播磨圏域栄養士会合同研修会（三木市栄養士会）
- ・ 社会福祉法人制度改革説明会（兵庫県）
- ・ 職員研修（東播磨ブロック老人福祉事業協会）
- ・ 緊急時相互支援体制整備ネットワーク会議（三木市栄養士会）
- ・ C-1グランプリ in 近畿（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 新任職員ステップアップ研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 会計実務担当者研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 介護保険サービス事業者等に対する集団指導（兵庫県福祉部）
- ・ 近畿ブロック研修会（日本瓊浦福祉会）
- ・ 社会福祉法人財務管理研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 三木市栄養士会新旧役員会（三木市栄養士会）
- ・ 三木市委託調査新任研修（三木市健康福祉部）
- ・ 社会福祉法人人事・労務管理研修（兵庫県社会福祉協議会）
- ・ 三木市支援ケアマネ連絡会
- ・ 三木市介護予防総合事業説明会
- ・ 地域ケア会議
- ・ 認知症対応型サービス事業者管理者研修
- ・ 兵庫県認定調査員研修
- ・ 社会福祉法人制度改革に向けた説明会
- ・ 南部支援ケアマネ連絡会
- ・ 神戸介護予防従事者研修
- ・ 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設説明会

平成28年度 会議・委員会・目的

会 議・委員会	目 的
SV 会議（スーパーバイザー）	法人・施設運営の報告及び協議
ライン会議	法人事業所の係長・管理職連携
労働衛生委員会	従業員の衛生管理活動の円滑な推進のための協議
福祉サービス向上・苦情対応委員会（第三者委員会）	利用者個々人の権利擁護と福祉サービスの適切な利用のための協議
入所（入居）検討会議	新規特養・ケアハウス・グループホーム入所（入居）に関しての選定協議
ケアプラン検討会議	新規入所時暫定ケアプラン 定期的なモニタリング（関係職種）
リスクマネジメント委員会	利用者の事故発生の防止、リスク回避対策、ひやりはっと分析
抑制廃止・マナー向上委員会（身体拘束廃止）	高齢者虐待防止、身体的・心理的拘束廃止、職員の人権意識及びマナー向上
感染症・食中毒予防委員会	インフルエンザ・ノロウイルス・食中毒等職員への予防啓発
生きがい推進委員会	こんぺいとう・回想法・遠足・クリスマス・誕生会 ・ひな祭り、日々のレクリエーション・生活リハビリ等・・・
介護力向上委員会（排泄・食事向上）	ICF〔国際生活機能分類〕の考えに基づいた個別排泄介護（日中オムツはずし） 食事摂取向上について（胃ろうから経口摂取・褥創予防等） 認知症ケア等・・・
施設行事実行委員会	夏祭り・敬老祝賀・新年祝賀会等・地域交流作品展・・・
サービス評価委員会（随時開催）	介護サービスの充実（情報公開） 第三者委員の評価 自己評価

※ 法人・施設行事関係はSV会議構成メンバーが中心となって企画

※ 防火対策(危機管理)・・・防火管理者がリーダーシップをとり防災計画において  
訓練を実施  
防災の日(毎月1日)

# 平成 28 年度 会議・委員会構成メンバー表

平成 29 年 3 月 31 日

	構 成 メ ン バ ー						
SV 会議（スーパーバイザー）	理事長・施設長・副施設長・事務長・係長・主任・副主任 委員長（オブザーバー）						
ライン会議	施設長・副施設長・事務長・係長						
入所検討会議	施設長・副施設長・ユニット係長・生活相談係係長 介護支援専門員・生活相談員・看護職員・介護職員・管理栄養士・医師						
ケアプラン検討会議	施設長・副施設長・ユニット係長・生活相談係係長 介護支援専門員・生活相談員・看護職員・介護職員・管理栄養士・医師 利用者家族						
福祉サービス向上・ 苦情対応委員会 （随時開催）	・苦情解決責任者 （施設長） ・第三者委員	苦情受付 担当者	副施設長・事務長 係長・介護支援専門員・生活相談員				
グループホーム運営推進会議 （2ヶ月に1回開催）	運営推進会議構成員						
労働衛生委員会	産業医・施設長・衛生管理者・松井・峰久・藤澤・山本						
リスクマネジメント委員会 ※	委員長	副委員長	山田恵	安本	寺尾	大津	長谷川
	斧	朝日	土居原	小林	田宮		
介護力向上委員会 ※	委員長	副委員長	山田恵	安本	寺尾	小島	片岡
	中井	前原	山田真	柳田	片山	西森	檜皮 田宮
抑制廃止・マナー向上 委員会 ※	委員長	副委員長	甲斐	吉岡	安本	寺尾	福井
	森谷	和氣	池田	常深	片山	西森	寺本
感染症・食中毒予防 委員会 ※	委員長	副委員長	甲斐	吉岡	安本	片岡	藤本
	酒井	藤井	上田	常深	藤原	渡海	
生きがい推進委員会 ※	委員長	副委員長	寺尾	吉田	波片	土居原	藤原
	小林尚	菅野	江原	池田	柳田	山崎	藤里
施設行事实行委員会	委員長	随時指名					
	管理職・係長						
地域交流推進委員会 （随時開催）	委員長	随時指名					
	管理職・係長						
サービス評価委員会 （随時開催）	委員長	随時指名					
	管理職・係長						

※施設長・副施設長・事務長随時出席